科目ナンバリング	U-LAS00 20014 SJ34						
授業科目名<英訳>	科学論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Philosophy and History of Science			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　青山　拓央		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	哲学・思想(各論)			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	水5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

哲学と科学に興味があり、かつ、文章を読みながら「議論する」ことについて深く学びたい学生に向けて、ディスカッション中心の授業を行ないます（単位取得には積極的な発言が必要です）。
教科書の文章をクラス全体で精読するほか、各回の担当者を選定し、担当者による司会進行のもとで、ディスカッションを実施します。

[到達目標]

文章精読とディスカッションの技術を学ぶとともに、哲学的・科学的観点から新たな知見を獲得する。

[授業計画と内容]

第１回：授業についてのガイダンスを行なう。
第２回：教員による司会進行と解説のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。
第３回～第１４回：各回の担当者による司会進行のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。適宜、教員による解説を挟む。
第１５回：フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

各回の授業におけるディスカッションへの参加度と、担当者としての発言内容をもとに、成績評価を行なう。（詳細は講義のガイダンスにて説明します。）

[教科書]

青山拓央『哲学の問い』（ちくま新書, 2024年）ISBN:978-4480076328

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

各回のディスカッション内容を振り返ることで、自分の担当回ではどのように司会進行を行なうかを考えておく。

[その他（オフィスアワー等）]

ゼミナール形式であることをふまえ、受講希望者多数の際は、受講制限をすることがあります。活発な議論への参加を期待します。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部